

1-④ 指導体制の充実

学級担任の授業力向上を目指す指導体制づくり

長岡市立日吉小学校 池田 一春

1 研究の視点に関する実態

当校では、これまで英語教育推進リーダーの役割を果たす職員を中心に外国語活動の研修に励み、授業力の向上を図ってきた。しかし、今春、当該職員が転出したことで、職員個々の授業力や授業研究が停滞し始めた。そこで、推進リーダーの育成を進めるとともに、職員アンケートで実態を把握し、推進リーダーを中心とする校内体制づくりと職員の授業力向上に取り組んでいる。

(1) 「外国語活動」についての職員アンケートから

- ①外国語活動の指導は好きか。 Yes(43%)
- ②外国語活動では「学習が楽しいと感じさせること」を最も重視しているか。 Yes(100%)
- ③自主的に英語の勉強をしているか。 Yes (14%)
- ④授業で困っていることは何か。
 - ・自分の英語力（英語を使う・話すこと、発音）に自信がない。
 - ・各単元での到達度目標（児童がどういう状態になればよいのか）が分からない。

(2) アンケートから見てきた当校職員の課題

アンケートの結果、当校職員は全員が「自分の英語力に自信がない」と思っており、それが原因で外国語活動の指導は好きになれないでいることが分かった。

2 改善のための具体的な方策と取組内容

(1) 目指す職員の姿と外国語の指導力を高める組織

- ①英語教育推進リーダー：校内の外国語教育を牽引し、授業力向上のために職員を指導する。
- ②学級担任：高い英語力を有しなくても、ICT等を有効に活用し、自信をもって授業に臨む。



(2) 英語教育推進リーダーの育成

3人体制で行うTT授業で指導力向上（H29年度、2つの学年で実施）

(3) 「自分事」意識をもつ職員の育成

- ①ピクチャーカード、フラッシュカード等の資料作成、使える言語活動の紹介
- ②デジタルコンテンツ等の紹介と活用及び演習、予習しやすい環境づくり
- ③研修を通して育てる次の英語教育推進リーダー候補

(4) 校内研修

- ①H29.4 英語教育推進リーダーを育てるためのTT指導
- ②H29.11 3、4年生外国語活動の研究授業（中学校区合同研修会）
- ③H29.12 校内伝達研修会（「移行期における小学校外国語活動に関する指定研修」）
- ④H30.1 要請研修（長岡市教育委員会指導主事による指導）
- ⑤H30.7 外国語活動についてのアンケート実施
- ⑥H30.7 校内研修（デジタル教材の内容と効果的な使い方について）
- ⑦H30.8 夏期休業を使つての資料作成

3 取組の成果と残された課題

外国語指導に必要な環境が徐々に整備されたことによって、外国語の指導に対する過剰な心配が軽減され、短い時間でもデジタルコンテンツを開いて予習しようとする姿や自作教材をかごに入れて授業に向かう職員の姿が見られるようになってきた。職員の変容を実証する数値はないが、授業での教材の使い方や教室英語を使おうとする姿勢から「自分事」意識も芽生えつつあるように感じている。今後もICTの活用を増やし、英語力よりも授業力を高める研修に力を入れていく。外国語指導の中心となる英語教育推進リーダーの育成は一朝一夕とはいかず、まだ育てていないが、今後さらに研修を重ねていくことで、職員の中から候補者が現れてくるものと確信している。